

問題番号	問題文			正答	ページ	配点	図
	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3				
23	売価還元法で不明ロス率を求めるために必要な数値は何か。 期首在庫額 (原価) 粗利率 期首在庫額 (売価)			3	36	1	
24	原価率がわかれば粗利率が求められるというが、その理由は何か。 原価率と粗利率は比例しているから 原価率にロス率を加えたものと粗利率の合計が100%だから 原価率と粗利率の合計が100%だから			3	37	1	
25	次の表で示された (イ) 期中売上高 (原価) を求めよ。 4680 4800 5040			3	37	3	○
26	次の表で示された (ロ) 期中原価率を求めよ。 75% 85% 80%			3	37	3	○
27	次の表で示された (ハ) 粗利益高を求めよ。 3360 4120 3240			3	37	3	○
28	次の表で示された (ニ) 粗利率を求めよ。(四捨五入して小数点第一位まで) 22.1% 23.5% 21.1%			3	37	3	○
29	次の表で示された (ホ) のあるべき在庫額 (売価) を求めよ。 2870 2910 2950			3	37	3	○
30	次の表で示された (ヘ) 不明ロス額 (売価) を求めよ。 270 320 230			3	37	3	○
31	次の表で示された (ト) 不明ロス率を求めよ。 0.5% 0.4% 0.3%			3	37	3	○
32	ある企業の営業利益率が3%でロス率が0.7%、そして営業利益高が4800万円であった。ロス率が0.7%から0.5%に改善できたとすると営業利益高は、どれだけ増えるか。 280万円 300万円 320万円			3	41	3	
33	売上高が10億円、営業利益率が1%でロス率が0.5%であった店舗がロス率を0.1%改善できれば、ロス率は0.4%となって営業利益率も1.1%となり、営業利益高も増える。それでは、ロス率 (営業利益率) は改善されず同じ営業利益高を得るためには売上高をどれだけ増やす必要があるか。ただし、売上高に占める販売管理費の比率は変わらないものとする。 100万円 1000万円 1億円			3	41	3	
34	ロスはいくつかの特徴を持つ特異なコストである。その特徴とは何か。 企業が自らの意思で支出したコストではなく、ロスを削減できれば、削減できたロス額分だけ売上増と同じ価値がある ロスが発生の都度すべて把握できる。またロス削減できれば、削減した分が直接利益増につながる 企業が自らの意思で支出したコストではなく、大部分のロスはロスが発生した時点ではわからず、実地棚卸によって在庫を確定しないとわからない			3	41	1	
35	業績の改善 (利益増) のために行うべきことについて正しい説明はどれか。 売上を伸ばすことよりもロスの予防を優先して利益率を高める努力をすべきである 「売上はすべてを獲す」という言葉にある通り、小売業は売上、すなわち顧客の支持を得ることが最重要であり、それを実現することで利益は後からついてくるものである 売上を最大化と作業の効率化を図る必要があり、それに加え、ロスを予防するための行動が必要である			3	42	1	
36	逆ロスが発生する原因についての説明で正しいのはどれか。 あるべき在庫よりも実地棚卸の結果の在庫の方が多くなってしまった状態で、その原因はとまかく利益に貢献しているので問題視することはない 逆ロスは期首在庫よりも期末在庫が過剰である状態をいい、期末在庫を再度調査すべきである あるべき在庫よりも実地棚卸の結果の在庫の方が多くなってしまった状態で、その原因は何らか管理ミスによるものである			3	53	1	
37	次の表で示されたものの中に逆のロスの例はいくつかあるか。 2例 4例 3例			3	53	1	○
38	セール商品の在庫に余裕のあるA店から不足しているB店に商品を移動した。ところが移動 (振替) データの入力 (もしくは伝票の起票) を怠ってしまった。この場合、どの店に逆ロスが発生するか。 A店に逆ロスが発生する A店、B店ともに逆ロスは発生せず、A店のみロスが生じる B店に逆ロスが発生する			3	54	1	
39	次の図の空欄A、B、C、Dを正しく埋める組み合わせはどれか。 A: 悪意のないロス B: 悪意のあるロス C: 犯罪の機会 D: 運営管理上のあやまり A: 悪意のあるロス B: 悪意のないロス C: 運営上のあやまり D: 不明ロスの原因 A: 悪意のあるロス B: 悪意のないロス C: 犯罪の機会 D: 運営管理上のあやまり			3	55	1	○
40	管理ミスについての説明で正しいものはどれか。 監査は正社員を行うことで管理ミスの再発を防ぐことができるので監査の回数を増やすなどの対策で十分である 管理ミスを防ぐには教育が不可欠であり、経験者から新たな担当者に個々に経験者が行っている手順を正しく伝え教えることが最も確実である 管理ミスを未然に防ぐには業務プロセスが決められた手順で確実に実施されなくてはならない、そのためにはマニュアルの整備が不可欠である			3	55	1	
41	サイクル・カウントについての説明で正しいものはどれか。 棚卸の頻度を高め、何度も棚卸をすること 同一のチェーン・ストアの中で店舗ごとに棚卸を行う月を覚えて行うこと 棚卸は店舗にある在庫をすべて調べるのと異なり、一部の在庫を調べる			3	61	1	

Q 2 5

項目	数値
期首在庫額 (原価)	2300
期中仕入額 (原価)	4900
期中売上高 (売価)	7000
期末在庫額 (売価)	3000
期中売上高 (原価)	(イ)
期中原価率	?
粗利益高	?
粗利率	?

Q 2 7

項目	数値
期首在庫額 (原価)	3400
期中仕入額 (原価)	13400
期中売上高 (売価)	16200
期末在庫額 (売価)	4800
期中売上高 (原価)	?
期中原価率	?
粗利益高	(ハ)
粗利率	?

Q 2 9

項目	数値
期首在庫額 (売価)	2600
期中仕入額 (売価)	39000
期中売上高 (売価)	38600
期中原価率	73%
期中値下、廃棄 (売価)	50
期末在庫額 (売価)	2680
あるべき在庫高 (売価)	(ホ)
不明ロス額	?
不明ロス率	?
期末在庫高 (原価)	?

Q 3 0

項目	数値
期首在庫額 (売価)	1830
期中仕入額 (売価)	6500
期中売上高 (売価)	6380
期中原価率	73%
期中値下、廃棄 (売価)	120
期末在庫額 (売価)	1600
あるべき在庫高 (売価)	?
不明ロス額	(ヘ)
不明ロス率	?
期末在庫高 (原価)	?

Q 3 1

項目	数値
期首在庫額 (売価)	2990
期中仕入額 (売価)	8100
期中売上高 (売価)	8300
期中原価率	69%
期中値下、廃棄 (売価)	35
期末在庫額 (売価)	2730
あるべき在庫高 (売価)	?
不明ロス額	(ヘ)
不明ロス率	?
期末在庫高 (原価)	?

Q 2 6

項目	数値
期首在庫額 (原価)	1350
期中仕入額 (原価)	2970
期中売上高 (売価)	4220
期末在庫額 (売価)	1180
期中売上高 (原価)	?
期中原価率	(ロ)
粗利益高	?
粗利率	?

Q 2 8

項目	数値
期首在庫額 (原価)	4780
期中仕入額 (原価)	12980
期中売上高 (売価)	17800
期末在庫額 (売価)	4720
期中売上高 (原価)	?
期中原価率	?
粗利益高	?
粗利率	(ニ)

Q 3 7

商品名	期首在庫数量	期中入荷数量	期中販売数量	期末在庫数量
A	54	23	20	55
B	23	33	36	22
C	18	41	45	19
D	32	28	31	31
E	9	17	16	7

